

いのち最優先の社会へ 政治の転換を実現しよう



府内各地からオンラインで参加

大阪自治労連 第34回定期大会

9月12日 WEB併用

大阪自治労連は、大阪市内で9月12日に第34回定期大会を開催しました。

今大会はコロナ感染対策を図り、初のWEB併用の大会となりました。コロナ危機が府内の自治体職場に広がり、住民サービスに大きな支障が出ています。各分野の最前線で働くすべての自治体労働者の安全を確保し、住民のいのちとくらしを守るための運動方針を確立しました。

また、守口市学童保育をはじめ、大阪市や枚方市、門真市、堺市学童での労働者の権利侵害を許さないたたかいへの支援強化も確認されました。(2・3面に関連記事)

いのちを守る側の自治体労働者の いのちと安全を守るために

ここに大阪自治労連がある

大阪自治労連 書記長

に き まさる
仁木 将さん



さあやるぞーと腕を組む

9月12日の大阪自治労連定期大会で新書記長に選出された仁木将さん。コロナ禍で厳しさを増す自治体職場。国民のいのちが守れない政治。決意と抱負をうかがいました。

Q 新書記長に選出されましたが今の気持ちは?

定期大会では28人が発言しました。新書記長として、一人ひとりの発言に対して、自分自身の考えを持つことが大事だと感じました。オンライン併用で、大会書記長として、最後まで無事にできるかどうか必死でした(笑)。

Q 本部の役員として感じていることは?

2014年4月から本部専従役員に復帰しました。東日本大震災でボランティア活動に行き、大阪市の組合事務所裁判や住民投票の運動など、目まぐるしく活動してきました。組合活動の基本を落着いて振り返ることが必要だと感じています。



自治労連大会にて(8月23日)

Q コロナ禍が続いています。大阪自治労連の役割は?

大会スローガンは「いのちとくらしを最優先にする新しい社会を実現しよう」です。議員のみなさんの発言を聞いて、住民のいのちを守る側のいのちや安全をまもるのが大阪自治労連の役割であることと改めて強く感じました。

Q コロナ感染、自然災害、環境破壊が進行。政治と行政への意見は?

コロナ感染拡大や自然災害

害、環境問題などは政治が責任をもって取り組む課題だと思います。行政も今の実情を住民に伝える責任を果たしていません。事実を覆い隠して、問題に正面から対峙しない、無責任な政治と行政になっているのではないのでしょうか。その最前線で自治体労働者ががんばっている。政治が変われば転換できるのではないのでしょうか。

Q 気分転換、リフレッシュは?

疲れた時は、家族の時間が疲れを癒してくれます。一番の楽しみは子どもと一緒にマンガを読んでいる時かな。

Q 大阪自治労連の組合員やすべての労働者に向けてのメッセージを!

職場や地域に労働組合があることの値打ちや素晴らしさを感じてほしいということです。労働者が人間らしく誇りを持って働くために労働組合はかけがえのない存在です。「ここに大阪自治労連がある!」と誇りを共有したいと思います。